

## 子供のライターによる火災の主な事例

出典：火災の実態（東京消防庁）

出火年月	被害状況	概要
平成 16 年 4 月	建物全焼 1 棟 簡易トイレ等 計 152 m <sup>2</sup> 焼損	近隣の子供（6 歳以上 12 歳未満）3 人が木造平屋の空家に入り込んでライターで火遊びをしていたため、居室の押入前に立てかけてあったふすまに燃え移り出火した。
平成 17 年 3 月	建物部分焼 1 棟 外壁等 計 142 m <sup>2</sup> 焼損 負傷者 5 人	共同住宅 7 階に居住する主婦が、2 人の子供を残して近所に出かけた際、住戸に残された女兒が台所の食器棚の上にあったライターで火遊びをし、火のついた紙をそのまま台所のごみ入れに捨てたため出火した。 主婦が帰宅し、水をかけて消火しようとしたが水を入れる容器が見つからず、煙が充満していたため各居室の窓を開放した後、2 人の子供を連れて避難した。 出火した住戸の居住者と直上階の居住者が避難する際に煙を吸い込み受傷した。
平成 17 年 4 月	建物部分焼 1 棟 外壁 計 85 m <sup>2</sup> 焼損 死者 1 人 負傷者 1 人	共同住宅 3 階に居住する男児（6 歳未満）が居室内でライターを使って遊んでいるうちに、押入のふすまに着火し延焼拡大した。 出火後、ベランダに避難した男児と母親は、住民により救出されたが、居室のベビーベッドにいた次男は、避難できず死亡。
平成 18 年 1 月	建物部分焼 1 棟 外壁 計 60 m <sup>2</sup> 焼損 負傷者 6 人	共同住宅の 2 階に居住する子供（6 歳未満）2 人が居室内でライターを使って遊んでいるうちに、周囲にあった雑誌に着火し延焼拡大した。 寝室にいた母親と別の子供が避難する際に熱傷（重症・中等症）を負ったほか、ライターで遊んでいた子供や共同住宅の居住者の 4 人が煙を吸い込み受傷した。
平成 18 年 4 月	建物全焼 2 棟等 計 2 棟 183 m <sup>2</sup> 焼損	倉庫外周部で近隣の小学生 2 人が自宅から持ってきた新聞紙にライターで火をつけて遊んでいたところ、炎が拡大して消火できなくなり建物に延焼した。
平成 19 年 8 月	建物半焼 1 棟 部分焼 1 棟 ぼや 2 棟 計 4 棟 100 m <sup>2</sup> 焼損	共同住宅の 2 階の居住者である男児（5 歳）が、ダイニングキッチン内で父親のライターを用いて紙くずに火をつけて遊んでいたところ、炎が拡大して消火できなくなり延焼した。 別室にいた母親が、テーブルの下から煙と炎が出ているのを発見し、水道から鍋に水を汲んで消火しようとしたが、炎が大きくなってきたので、男児を連れて避難した。 ライターは両親がタバコを吸うためにダイニングキッチンのテーブルの上に置いてあり、ライターの表面には男児の好きな漫画のキャラクターが印刷されていた。